地域交流型サロン(ふれあいサロン)助成金



サロン運営団体名称 鹿嶋市食育クラブわかば

開催日及び開催頻度

月1回 月曜日 15:00~19:00

開催拠点

カフェ タメール (大野公民館 等)

大人: 200円、子ども: 100円

代表者氏名

50人

1回の参加人数

加費 (1人1回あたり)

日向寺 恵美

広 報 方 法

チラシ(随時)

鹿嶋市や鹿嶋市社会福祉協議会の 広報誌 (随時)



地元アーティストによる卒業ライブ

開催地域の様子



- 4 小学校、1 中学校がある広範囲な地域のため、送 迎が必要な場所。月曜日開催のため公民館が利用出 来ないので、中学校前のカフェ(定休日)を無料で 借りています。
- ※土・日の場合は公民館利用
- ※各小学校には、学童があるため、中学校近くを選び ました。

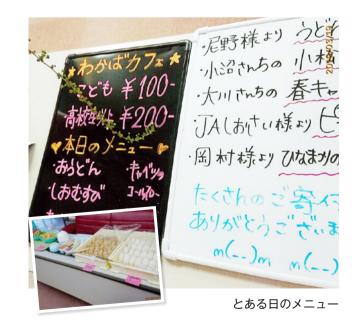


毎回4カ月に1度オアシスで作られている パンフレットに載せてもらっています。

サロンに取り組む動機・サロンの将来修



- ●子ども食堂+地域のふれあいサロン(孤食をなくし たい。)
- ●もともと地産地消のボランティア活動をしているの で、固定した場所や日程で行っていこうと思った。
- ●アンケートを取り、改善しながら行っていく。

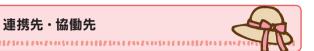


サロン運営上の協力者



- ●いる
- ・鹿嶋市社会福祉協議会の担当者

連携先・協働先



社会福祉協議会、ボランティア協会(社会福祉協議 会内)、JA、地域福祉推進委員、包括支援センター、 チラシの配布、声かけ、当日の手伝い等

団体やサロンの PR ポイント



●地元の人々の協力があり、ボランティア、食材等集 まってきます。

毎回いろいろな人に感謝しながら食事をとる様にし ています。



キャラ弁教室 大人気で、3回開催しました。



キャラ弁教室 よみうりタウンニュースでとりあげられました。

運営費の確保方法



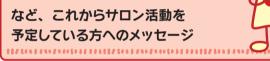
●食材の寄付、寄付金、地元JAの協力、食育わかば の活動資金より

(地元スーパー、地元農家) 野菜などの寄付

サロンのウリ



- ●アメリカ人のボランティアによる英会話。ボラン ティアグループによる子ども遊び。子どもを中心と して、大人との交流を行っています。
- ●一人暮らしの高齢者に名前を覚えてもらう(子ども たち)。他の場所で会っても、あいさつができるよ うに伝えています。地域の人々で子ども達を育てて いける居場所作り。
- 助成金の活用によりパワーアップした活動
- サロン活動で使える豆知識
- サロン活動の醍醐味



- 悩んでいるよりやって みる(私も悩んでいま した)。
- ◆やってみたら、ボラン ティアも協力者も参加 者も口コミで集まりま した。

子どものつながりは 必須です。チラシより 宣伝効果あり!!



年に1度市報に 載せてもらいます。



英会話を楽しんでいます。

-8-